



門川町教育研究所では、子ども一人ひとりの確かな学力の向上をめざして、教育研究の情報や家庭教育のための情報発信を行っています。今回は、教育研究所がまとめた「支援アイデア集」から、子どものいろいろな実態に応じて、家庭でできる子育てや支援の工夫を紹介したいと思います。是非、家庭教育にお役立てください。

家庭でできる子育ての工夫

子どもは、毎日の生活や学習の中で、いろいろな困難を感じています。周囲の大人はこれを十分理解して、子どもを支援する必要があります。

聞くことが苦手な子への支援

子どもの目線で話をしましょう！

よく見られる行動や事例

- 話に集中できない。
- 手遊びやよそ見をしている。
- 視線が合わず、そわそわする。

支援や指導のポイント

- 正面から目を見ながら、低く、はっきり、ゆっくり話しましょう。指示する内容は、短くしましょう。
- 伝わったかどうか、復唱させましょう。
- できたらすぐにほめて、励ましましょう。

話すことが苦手な子への支援

聞き上手な大人になりましょう！

よく見られる行動や事例

- 聞かれても答えられない。
- 言いたいことがうまく言えない。
- 筋道を立てて話せない。

支援や指導のポイント

- 話に、じっくり耳を傾けましょう。
- 考え、答える時間のゆとりを持たせましょう。
- 声が小さくても、言えたことをほめて認めましょう。
- どんなことでも言える雰囲気をつくりましょう。



読むことが苦手な子への支援

毎日の「読み声」を、ゆっくり聞いてやりましょう！

よく見られる行動や事例

- 読み方がたどたどしい。
- 行をとばす、同じところを読む。
- 読めても理解が難しい。

支援や指導のポイント

- 単語や文のまとまりに印をつけて読ませましょう。
- 間違いやすいところに印をつけましょう。
- 短い文章から読む練習をさせましょう。
- 好きなところを読ませましょう。

書くことが苦手な子への支援

挨拶という字は、手へんにム・矢・く・夕だ！

よく見られる行動や事例

- 書き順が覚えられない。
- ノートがとれない。
- 似た字を間違える。

支援や指導のポイント

- 大きな紙に、字を大きく書かせましょう。
- 指やえん筆でなぞらせましょう。
- 書き順を唱えながら書かせましょう。
- 文字を形に分解して、覚えさせましょう。



計算することが苦手な子への支援

かけ算は、四の段と七の段の言い間違いが多いよ！

$$\begin{array}{r} 12 \\ \times 34 \\ \hline 408 \end{array}$$



よく見られる行動や事例

- 計算に間違いが多い。
- 九九が覚えられない。
- 計算に時間がかかる。

支援や指導のポイント

- おはじきやお金などの具体物で計算させましょう。
- 10のまとまりをつくる練習をさせましょう。
- 唱えて、書いて、九九を覚えさせましょう。
- 生活の中で、数字や計算に慣れさせましょう。

整理整頓が苦手な子への支援

片づけができた時にはほめてください！



よく見られる行動や事例

- いつもさがし物をする。
- いる物 いらぬ物が区別できない。
- まわりが片づかない。

支援や指導のポイント

- 置き場所に目印をつけさせましょう。
- 片付けのための時間をもうけましょう。
- 広い収納場所をつくりましょう。
- 片づけができたときには、しっかりほめましょう。

忘れ物が多い子への支援

まず準備をしてから遊ばせましょう！



よく見られる行動や事例

- よく忘れ物をする。
- 物をよく無くす。
- 持ち物をよく置き忘れる。

支援や指導のポイント

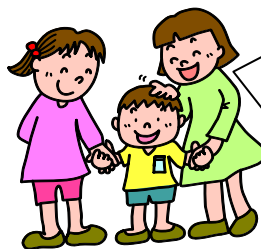
- 自分の持ち物に印を付けさせましょう。
- メモをとったり、見たりする習慣をつけさせましょう。
- 前日に準備する時間をつくりましょう。
- 置くところを決めさせましょう。

教育研究所からのメッセージ

子どもたちの実態にあった支援をすることは、大人の役割です。そして、その支援にはちょっとしたコツがあります。このコツさえ知っていれば、大きなトラブルや失敗につながることはありません。家庭での子育てが楽しくなります。子どもがすくすく育ちます。

子どもを支援する基本

- 子どもに分かりやすく教えましょう。
- 子どもとともに考えさせ、解決させるようにしましょう。
- 子どもの記憶に残るように教えましょう。
- 子どもの困っていることに合わせた支援をしましょう。
- 子どものがんばりを認め、励ましましょう。
- 少しずつできるようになることを大切にしましょう。



くわしい情報は、門川町のホームページ（教育研究所）にあります。是非、見てください。

お父さん・お母さん子育てで悩んでいませんか？

困った時や迷った時は、
教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）

63-1566

~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。）~~~~